

活動報告

団体名	災害鍼灸マッサージプロジェクト
活動名	平成30年7月豪雨による被災地のための、鍼灸あんま指圧マッサージによる支援活動
活動期間	2018/07/10～2018/8/2
活動の成果	<p>災害鍼灸マッサージプロジェクトは、国家資格を持った鍼灸師・マッサージ師により、被災された方々及びそれを支える支援者の方々へ鍼灸マッサージを提供する活動を行いました。広島県三原市にて7月半ばから9月初めまでの間に38日活動し、のべ491名、実質237名の方へ施術しました。赤い羽根共同募金にはこのうち活動開始から8月2日までの14日間の活動をご支援頂きました。慣れない避難所暮らしでは体の痛み、不眠、食欲不振などの体調不良が生じますが、病院にかかるほどではないと我慢される方が多くいらっしゃいます。このような不調を除くのに鍼灸マッサージは最適でした。また参加者は医療知識を備え、血圧や体温の測定を行い、心配な方には病院受診を勧めるなど、施術ばかりでなく日々の健康管理にも務めました。日中ご自宅の片付けから避難所に帰っていらした方の熱中症を発見、速やかに看護師へつないだ例などがあります。支援者の支援も特徴的です。被災された方々のために通常の勤務時間を大幅に超えて働きづめとなる行政職員やボランティアセンター職員へ施術、健康状態もチェックしました。これが目的の一つである活動は他に類がないと思われます。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>この度はご支援を賜り、誠にありがとうございました。お蔭様で、鍼灸マッサージを通し、被災された方々の心身の苦痛を直接取り除く活動を滞りなく行うことができました。避難所にいらっしゃる方々の体調管理に携わるためには、単発ではない継続した活動が必要です。ところが、災害鍼灸マッサージプロジェクトに全国各地から参加した鍼灸マッサージ師たちが繰り返し被災地へ赴くには、自らの資金だけでは難しい状況でした。皆様のご支援のおかげでこの課題を乗り越えることができ、丁寧で有意義な活動を展開することができました。また私たちの活動は、避難者の方々ばかりではなく、自らが被災者でありながら睡眠時間も削って復旧活動にあたる自治体職員、ボランティアセンターを運営する社会福祉協議会職員ら支援者も施術対象としておりました。このような支援者を支援することは被災地の環境を整え、速やかな復興につながりますが、これを目的の一つとした活動を行う医療ボランティアはほとんどありません。並行して行ったこちらの活動についても同じく、皆様からのご支援があったからこそ継続的に実現できました。苦痛の緩和された受療者の方々の笑顔は素晴らしいものでした。被災された方々になり代わりまして、厚く御礼申し上げます。</p>

(活動のようす)

